

第2回 大阪市立南田辺小学校 学校協議会 実施報告書

学校名 大阪市立南田辺小学校
 校長名 川畑 広道

日時	令和6年11月27日(水) 19時00分~20時30分(1時間30分)	
場所	大阪市立南田辺小学校 会議室	
出席者	高田 昌文(会長) 坂本 敏和(委員) 杉田 寿男(委員) 伊藤 博(委員) 那須 香織(委員) 川上 雅子(委員) 井寄 芳春(委員) 川畑 広道(校長) 濱澤 和之(教頭) 区役所 峠さん	
議題	(1) 運営に関する計画について	
協議 要旨	協議の 結果	意見の概要
	(1)	<p>・不登校について。欠席が30日以上十数名。生活指導員が週2日サポートで数名児童が来れるようになる。理由が難しいが、教職員が児童の気持ちを傾聴・受容・共感していくことを大切にしていく。学校は集団生活で学ぶことも多く仲間づくりを通して基本的な社会性を身につけさせたい。→(意見) 全国の不登校が増えていく傾向にある。世の中の考えも多様性を受け入れていく流れで、多様な学校を選んで学ぶことができ、集団生活や社会性よりも好きな勉強ができればよいという考えも広がることで今後も不登校も増えるのではないかと。登校に関する保護者の考え方も変化しているが、小中連携し、公立学校も「楽しい」と思える学校に代わっていかなければならない。</p> <p>・学力について。漢字検定を4年生で行う。勉強するきっかけになり、やる気を引き出そうと取り組む。体力について。長座体前屈の数値が全国平均より低い。→(意見) 柔軟性をつけていくために、教員も子どもも全員で毎日少しでもストレッチをしてはどうか。毎日3分でも効果があるので、習慣づけていってはどうか。</p> <p>・ICTタブレット活用率が80%に向上。本年リーディングDX事業で取り組んできた結果である。子どもたちが大人になり、活躍する時代に通用する力を身につけさせたい思いで力を入れて取り組んできている。一方で、教員の働き方改革では、ICT活用能力は、高まるが、昨年度と比べ、長時間勤務が減少していない現状があり、意識を変えていかなければならない。</p>
協議資料	○令和6年度 運営に関する計画	
備考	傍聴者 [0] 名	